

「福井空港ビル再整備キックオフ講演会を実施しました」

令和6年6月23日に、福井空港ビル（住所：坂井市春江町）において、航空行政に詳しい加藤一誠教授（慶應義塾大学）をお招きし、「様々な空港の好事例から学ぶ福井空港」について講演会を開催しました。老朽化した福井空港ビルの建て替えを検討するためのキックオフと位置付けて実施し、地元の方々や空港利用者など75名が参加しました。

加藤教授は講演会で

- ・ 地元の方々に空港をわがことと思ってもらうことが大事であり、福井空港の活用には住民の利用や交流拠点の視点が重要
- ・ 1月の能登半島地震で福井空港が石川県の被災地への支援拠点と機能したことで、福井空港の防災拠点としての効果が改めて認識された。
- ・ 空港ビルなどの再整備に関し、防災機能を強化するのであれば、ビルの位置などを考える必要がある。
- ・ 線のインフラである道路は大規模災害時に遮断され、復旧にも時間を要する一方で、点のインフラである空港は復旧も相対的に早く遮断されることがないため、非常災害時には地震等の広域被害の支援拠点となりうる。

と、空港の社会インフラとしての重要性と福井空港の可能性を指摘されるとともに国内外の空港などの事例を紹介いただきました。

インフラ整備の考え方

公平性基準 **効率性基準**

いかにして公平に配分するか
「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」(憲法第25条)

いかにして大きな余剰(便益)を得るか

＞空港は生産要素→地域にメリット→いなかへの投資も必要(効率性は劣るが)
＞東日本大震災以降、安全や防災も重要

＞周辺人口の増加や経済発展が空港の利用者数を増やす
→投資は人口集中地域に→利益を生み出す施設をつくるべし

9

災害対応のための空港～公平性基準



提供：福島県観光交流局空港交流課

16

多様なジェネラル・アビエーション (GA) 空港

- 1) 緊急支援 医療、救急支援、消火、災害支援
- 2) コミュニティへのアクセス (エアタクシーやチャーター、基本物資の輸送)
- 3) 商業系: 訓練飛行、ビジネスジェット、航空機の格納庫、整備
- 4) 地域の産業: 農業支援 (農業散布)、報道
- 5) 観光用飛行



出典: https://www.faa.gov/sites/aa.gov/files/airports/planning_capacity/ga_study/2012AssetReport.pdf

40

今回の講演会で非常災害時における福井空港の必要性が再確認でき、福井空港に必要な機能について考えるキックオフにふさわしい催しとなりました。



(写真：講演会のメイン会場)



(写真：講演会登壇者の加藤教授)



(写真：講演会のサテライト会場)

プロローグ企画として実施しました空港見学会やくうこうであそぼうの企画には約30名が参加し、子どもさんや普段空港を利用しない方にも58年使われた空港を見て、使っていただく機会となりました。



(写真：プロローグ企画 空港見学)



(写真：同時開催 くうこうであそぼう
「パタパタ紙ひこうき作り」)